平成３１年度　５・６年生「スナメリプロジェクト～「木原の海にスナメリを呼び戻そう」～５年間のあゆみ」

オープニング

漁師（　　）　（漁をしている　網を船からおろす）
やれ、今日はどれくらい魚がとれているかのぉ。
・・・おっ、今日はとても重たいのぉ
ややっ、大きな魚がとれたぞ

・・・これは、スナメリだ！

説明（　　）　今から、４０年ほど前、この木原の海で
スナメリが捕獲されたという情報がありました。

脇西さん（　　）ぼくが子供のころには、この木原の岸から鯨島まで泳いでいたなあ。そのころは、スナメリを２、３頭泳いでいたよ。ぼくのおじいさんが生きていたころは、群れで泳いでいたよ。

岡野さん（　　）昔は、アマモがたくさん生えていたなあ。エビやカニ、小さい魚もたくさん泳いでいた。スナメリにとって、とても住みやすいところだったと思うよ。今は、アマモが生えていないから、食べ物が減って、住みにくくなったんじゃないかなぁ。

岡本さん（　　）木原にも、昔は海水浴場があって、貝をとっていたんだよ。スナメリだけじゃなく、メバルやオコゼなどの魚もたくさんいたんだ。福地の登山口のバス停近くで、昔はアマモをたくさん見た。埋め立てされたり、工場ができたりして、海が荒れていったと思うよ。

説明（　　）　その昔、この木原の海には、スナメリがいました。でも、今、この木原の海では、スナメリを見ることはできません。

「スナメリがいたころの木原の海にしたい」というスローガンのもと、私たちの先輩は５年前、総合的な学習の

時間に「スナメリプロジェクト」を立ち上げ、調査・研究を進めてきました。

５年目の今年。１ つの区切りとして、これまでの先輩たちが学習してきたこと、わたしたちが受け継ぎ、学習をしてきたことを地域のみなさんに発表します。どうか、最後までお聞きください。

スナメリパート

子供①（　　）　なかなかおらんねぇ・・・
あ！あそこにスナメリが見えた！

子供②（　　）　どこどこ？　あ！見えた！

子供③（　　）　たくさんいる！

説明①（　　）　ぼくたちの先輩方が「スナメリプロジェクト」を今から５年前の平成 27 年度に始めました。

説明②（　　）　木原の海からいなくなったスナメリを再び呼び戻すために、活動を始めました。

説明①（　　）　「スナメリ」とはどんな生き物なのか、実物を見に、山口県の周防大島（すおうおおしま）へ行ったそうです。

子供①（　　）　上嶋先生に教えてもらったとおり、スナメリは群れで生活するんだね。

子供②（　　）　ほうじゃねぇ～、見れんかと思ったけど，見れて本当にうれしいわぁ～

子供③（　　）　ほんまほんま、木原の海でスナメリが見られたらいいのにね。

説明②（　　）　その後、社会見学で宮島水族館へ行って，スナメリを間近で観察もしました。今年は、広島県の大崎上島へ行き、ぼくたちもスナメリウォッチングをしました。

子供①（　　）　なかなか姿見せんねぇ～。

子供②（　　）　はよ、姿出さんかなぁ～。

子供③（　　）　あ、あれは・・・（パシャ！）とったどー！

子供①（　　）　ほんま！？見せて見せて！

子供②（　　）　この黒いやつ？・・・すごいなあ

説明①（　　）　大崎上島での学習では、大崎上島でスナメリの保護に携わっておられる谷川先生にお世話になりました。また、大崎上島町立東野小学校では、スナメリのはく製を見せていただきました。ありがとうございました。

全員（　　）　ありがとうございました。

説明②（　　）　この大崎上島の学習の交通費の一部として、昨年、地域で開催された芸能発表会のバザーの売上金を使わせていただきました。あわせて、感謝申し上げます。

全員（　　）ありがとうございました。

鯨島調査パート

子供Ａ（　　）　早速、水質調査をはじめよう。
採水器を船からおろして・・・
（バケツに水をいれる）
水温は［　　］℃、ＣＯＤは［　　］、塩分濃度は［　　］だね。

子供Ｂ（　　）　透明度板を下ろして・・・透明度は［　　］m。
気温は［　　］℃、天気は晴れ。

説明Ａ（　　）　「スナメリプロジェクト」を始めるにあたり、「木原の海」を知る必要がありました。ぼくたちにとって、木原の海は、ただの「海」でした。コンクリートの護岸があり、先生たちにも「海へ勝手に行ってはいけない」と言われてきた場所でした。
つまり、ぼくたちは、海を知らなかったのです。

説明Ｂ（　　）　海の専門家である、上嶋先生，岩井先生にご指導いただき、鯨島を中心とした水質調査・生物調査をすることにしました。

説明Ｃ（　　）　これまでの調査結果を見てみると、
気温や水温が高くなると、透明度が下がり、
反対に、気温や水温が低くなると、透明度が上がることがわかりました。

説明Ａ（　　）　先生によると、海の中にいる「プランクトン」というとっても小さな生物が気温や水温が高くなると活発に動くから、透明度が下がるそうです。でも、透明度が低いからといって、海が汚いとは言えません。なぜなら、海の生物の栄養分となっているからです。

説明Ｂ（　　）　沖縄の海は透明度が高いことで有名です。たしかに、海は「きれい」かもしれません。でも、海の「豊かさ」でいうと、一概には言えないそうです。
ただし、「プランクトン」が増えすぎても「赤潮」になり、海にとっても、生き物にとってもよくありません。

説明Ｃ（　　）　つまり、気温や水温、透明度のバランスが大事ということがわかりました。地球温暖化、海の潮の流れの変化、天気の変化など、いろいろなことがそのバランスには大切なのだそうです。

子供Ａ（　　）　鯨島で生物調査をしよう。今日はどんな生物がいるかな。コドラードを置いて・・・
・カキ　　…手のひら〇つ分
・イソギンチャクは…〇匹
・イボニシは…〇個

子供Ｂ（　　）　今回は，イソギンチャクの割合が多くなったね。
でも、ヒザラガイがいなくなったね。

説明Ａ（　　）　生物調査を続けていくことでわかったことがあります。
海の水質と同じように、気温が高いと見つかる生き物が増え、気温が低いと見つかる生き物が減るということです。

説明Ｂ（　　）　鯨島には、いろいろな生き物がいました。ぼくのお気に入りの生き物は、［　　］です。
理由は、［　　］からです。

説明Ｃ（　　）　ぼくのお気に入りは、［　　］です。
理由は、［　　］からです。

詳しいデータは、体育館後ろに掲示してありますので、ご覧ください。

子供Ａ（　　）　今では、自分たちで生き物の名前がわかるようになりました。たくさんのおもしろい生き物が鯨島にいることがわかりました。

子供Ｂ（　　）　今まで遠かった「海」が、水質調査や生物調査をすることで、とても近いものに感じることができました。今年度最後の冬の調査も楽しみです。

アマモパート

子供Ｃ（　　）　あぁ、木原の海に早くスナメリが戻ってきてほしいなあ。どうしたらいいのかなぁ。

アマモ①②（　　）　はーはははははは。

子供Ｄ（　　）　だれ？　だれの声？

アマモ①（　　）　わたしだ！

子供Ｅ（　　）　雑草？

アマモ②（　　）　（ずるっ）ちがうっ！

子供Ｃ（　　）　わかった！ワカメ！

アマモ①（　　）　ちがうちがう！

子供Ｄ（　　）　じゃあ、、、みどりいろの妖怪？

アマモ②（　　）　ぜんぜんちがう！わたしは、海のいきものたちのゆりかごと言われている「アマモ」だ。
アマモ①（　　）「アマモン」と読んでくれていいぞー

子供Ｅ（　　）　くまもんなら知ってるけど、アマモって何だ？？？そんなもの、木原の海で見たことないよ。

アマモ②（　　）　そんなことはない。時々、海に浮かんでいる、そう、このみどりいろの葉。これはわたしの一部だ。

子供Ｃ（　　）　海に浮かんでいるのに、海にとってそんなにいいものなの？？

アマモ①（　　）　たしかに、浮かんでいる時は、船のスクリューに巻き込まれて、漁師さんに嫌がられるが…

子供Ｄ（　　）　ほら、じゃまじゃん。あ！いい名前思い付いた！「じゃ・ま・も」！

アマモ②（　　）　うっ、その名前を呼ぶんじゃない。たしかに、そう言われていたころもあったが、、

アマモ①（　　）　さっき言った通り、我々は「海のゆりかご」と呼ばれているのだ。たくさんの海の生き物や魚たちが集まる場所になっている。卵を産む生き物もいるぞ。

子供Ｅ（　　）　ほんとだ！だったら、スナメリの食べ物になる生き物も暮らしているの？

アマモ②（　　）　そうだとも。たこや小魚にとっても、大切な場所なんだぞ。

アマモ①（　　）　それに、われわれの正しい名前を知っているか？

子供Ｃ（　　）　だから、「じゃ・ま・も」でしょ？

アマモ②（　　）　ちがーう！本当の名前は「リュウグウノオトヒメノモトユイノキリハズシ」というのだ。竜宮城の乙姫様の

髪を結ぶヒモのように美しいという意味だ。植物の名前で一番長い名前でもあるのだよ。

子供Ｄ（　　）　へぇ～。じゃあ、アマモをたくさん増やせばスナメリは戻って来るんだね。

アマモ①（　　）たしかにそうかもしれないけど、とても難しいんだ。

子供Ｅ（　　）どうして？？勝手に増えるんじゃないの？そこらへんの雑草みたいに。

アマモ②（　　）そうではないんだ。６月ごろから種ができ始めるんだが、葉が朽ちていくまで、３ヶ月。そこから、きちんとした種として生きるのはごく一部。寒くなった１月ごろから根が出始めるけど、発芽する割合は１割くらいなんだ。発芽しても、春に植えることができるまでの苗にきちんと育つのは更に少ないのだ。

子供Ｃ（　　）すごく時間がかかるんだね。どうしてそんなに大変なの？

アマモ①（　　）水温や潮の変化にとっても左右されるし、海の底の砂の室によっても変わってしまうんだ。だから、アマモがなくなった海は、アマモをまた増やすのはとっても大変なんだ

子供Ｄ（　　）　海によく浮いているから、増やすのは簡単だと思っていたけど、大変なんだね

子供Ｅ（　　）　そっか、先輩たちから僕たちへ受け継いで、さらに下級生へつないでいくこと、さらに、地域全体として受け継いでいくことがとっても大切なんだね。

アマモ②（　　）きみたちはまたこの冬に学校の水槽で我々を育ててくれるんだろ？よろしく頼むよ。

子供Ｃ（　　）　まかせてくれよ！

子供Ｄ（　　）　アマモをたくさん育てて、また春になったら鯨島に植えるよ

子供Ｅ（　　）　ぼくたちが大人になったときに、鯨島、いや木原の海にアマモがたくさん生えている海にするよ

アマモ①（　　）　木原の海を豊かにするために、よろしくたのむよ！

アマモ②（　　）　それじゃ、また会おう！さらばだ！

子供ＣＤＥ（　　）　バイバーイ

子供Ｃ（　　）　いっちゃった。アマモを育てること以外にぼくたちにできることは他にないのかな。

子供Ｄ（　　）　そういえば、この前鯨島に行った時に、たくさんのゴミを拾ったよ。

子供Ｅ（　　）　ビニール袋や、プラスチックの皿、空き缶、さらには、電球まであったよ。

子供Ｃ（　　）　こんなゴミを魚たちが食べたら大変だ。ニュースで「海洋プラスチック」の問題を言っていたなあ。

子供Ｄ（　　）　ゴミを海に捨てないことも大切なことかもしれないね。

子供Ｅ（　　）　この前、社会や理科の学習で、森の栄養が川をたどって、海に流れ出るっていう話も聞いたなあ。

子供Ｃ（　　）　海だけでなく、川や森のことも考えることも大切なのかもしれないね。

子供Ｄ（　　）　地域のみなさん、絶対に海や川、山や森にゴミを捨てないようにしましょう。

子供Ｅ（　　）　よろしくお願いします。

エンディング

①（　　）　先輩たちから受け継いだ「スナメリプロジェクト」は５年目を迎え、６年目へと続こうとしています。

②（　　）　これまで、たくさんの方々にお世話になりました。

③（　　）　瀬戸内海エコツーリズム協議会の上嶋先生、岩井先生にはスナメリやアマモのことを教えていただきました。
河原先生には、海藻おしばの仕方を教えていただきました。体育館の後ろに海藻おしばを掲示していますので，ぜひ，ご覧ください。

④（　　）　三原市漁業協同組合の濵松照行（はままつ　てるゆき）さん、昭夫（あきお）さんには船を出していただきました。船がなければ、鯨島調査をすることはできませんでした。ありがとうございます。

⑤（　　）　宮島水族館では、スナメリのことを教えていただきました。福山大学のマリンバイオセンターでは、瀬戸内海のことを教えていただきました。

①（　　）　共存の森ネットワークの吉野さんには、海の達人へのインタビューの仕方である「聞き書き」を教えていただきました。

②（　　）　笹川平和財団には、活動費の助成金をいただきました。これまで「スナメリプロジェクト」ができたのも、助成金をいただいたおかげです。

③（　　）　また、地域の皆さんには活動を温かく見守っていただきました。特に、脇西さんにはいつも鯨島調査についてきていただき、いっしょに学習に参加してくださいました。辻さんには、三原市漁協や地域との連携をしていただきました。

④（　　）　たくさんの方々のおかげで、「スナメリプロジェクト」ができています。

⑤（　　）　ありがとうございます。

①（　　）　これからもよろしくお願いします。

②（　　）　体育館後ろに、学習をまとめたものを掲示していますので、

ぜひご覧ください。

③（　　）　これで、５・６年生のスナメリプロジェクトの発表を終わります。　気をつけ、礼。